

### 第3 県債及び一時借入金の状況

県債は、県が建設事業や災害復旧事業を行うなど一時に多額の資金を必要とする場合、この財源として総務大臣の同意を得て国等から長期に借入れる資金であり、後年度に一定の償還計画に基づき返還していくものです。平成22年度末における県債の現在高は、第16表のとおり1兆1,852億8,478万円で、前年度に比べ、705億1,110万4千円、6.3%増加しています。なお、県債依存度と県債年度末現在高の推移及び県民1人あたりの県債現在高は、第18図及び資料17に示したとおりです。

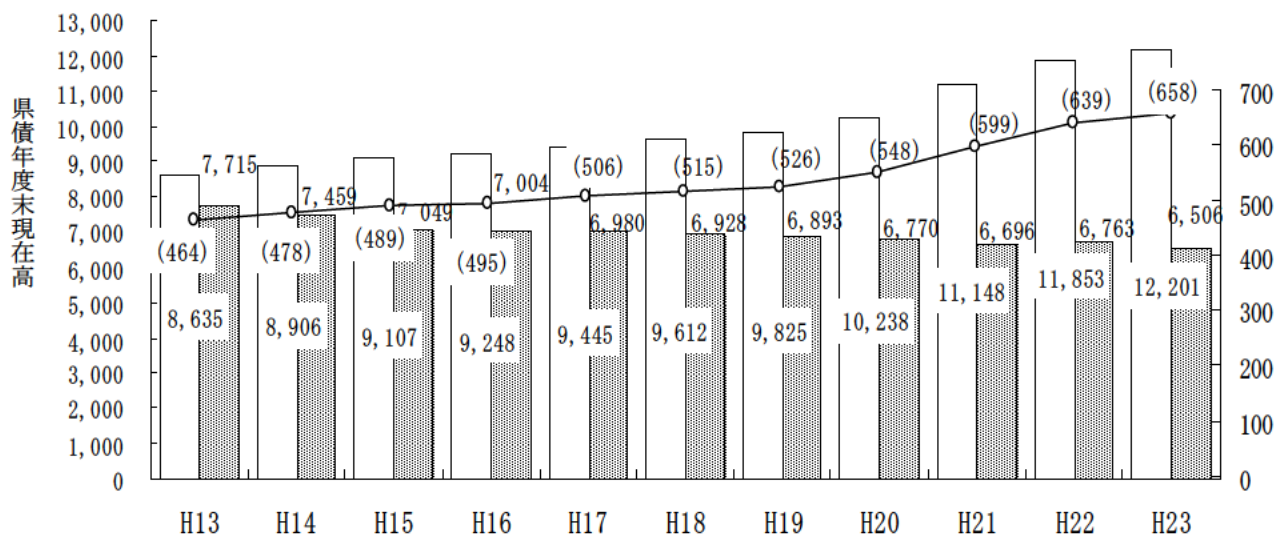
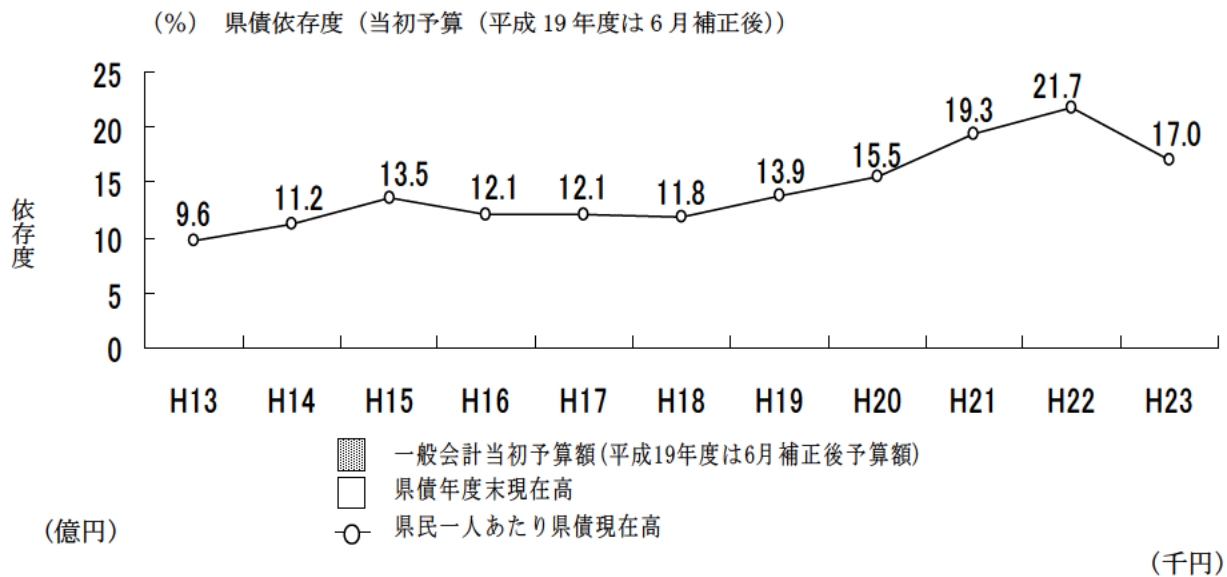
また、一時借入金は、予算執行にあたって歳計現金の資金繰りに不足を生じた場合、一時的に予算に定められた範囲内で市中銀行から借り入れるものです。平成22年度におきましては、資金繰りの必要から最大462億円の借入れを行いました。全額償還しています。

第16表 平成22年度末における県債の現在高（一般会計、事業別）

（単位：千円）

	現在高（見込高）
一般公共事業債	388,965,946
一般単独事業債	293,999,112
公営住宅建設事業債	3,189,770
災害復旧事業債	10,006,452
首都圏等整備事業債	6,104,659
厚生福祉施設事業債	1,700,311
教育・福祉施設等整備事業債	16,180,734
退職手当債	31,649,000
臨時財政対策債	293,771,974
減税補てん・減収補てん債	73,501,838
その他	66,214,984
合 計	1,185,284,780

第18図 県債依存度と県債年度末現在高の推移（一般会計）



(注) 借換債を除いた実質ベースで示してあります。

(注) 年度末残高及び県民一人あたりの県債現在高の平成21年度以前の数値は決算額、平成22、23年度は見込額を基準にして計算してあります。